

原付 ツーリングクラブ モナミ 広報係

原付萌奈美

をチェック!

原付(第1種原動機付自転車)市場を活性化し、豊明の産業振興を目指して活動する健気な女の子

Profile

- 豊明在住
- 名古屋市内の進学高校1年生で16歳
- 明朗活発だが、帰宅部で運動オンチ
- 怪獣映画と原付1種が大好き
- 愛車はカスタムカラーのスーパーカブ50



みんなよろしくね!



グッズは、ご当地キャラ祭りなどのイベントで販売。お守りは豊川の大社神社でも取り扱われています

information

総合情報通信技術研究機関 ADS <http://ads.selfip.com> 原付萌奈美ぶろじえくと運営委員会 [Twitter @monami_gentsuki](https://twitter.com/monami_gentsuki)

自身の技術を人のために地域貢献も視野に入れて

佐野さんの根幹は「人の役に立ちたい」という思い。人に感謝されるような仕事をしたいと立ち上げた非営利団体が「総合情報通信技術研究機関 ADS」です。

愛称・ソフトハウス ADS で知られ、さまざまな事業を技術面でバックアップ。コンピュータソフトやハードの開発、破損した記憶装置やファイル復旧など、情報技術分野に精通した技術者集団で構成されています。目的は産業振興であり、ポラン

自身の技術を人のために地域貢献も視野に入れて

しかし、25歳で健忘症を患い、記憶障害に悩まされます。悩み苦しむ中、情報工学者として海外の政府機関から就職の打診を受けます。熟考の末、日本に残ることを決意。現在も過去の記憶の一部が思い出せないといいます。

スタンフォード大学が複数の難病の原因はタンパク質の構造にあることを発見した際にも、大きな転機を迎えます。大学は構造の解析には300年以上かかるかと発表しました。そこで世界中の工学者にプログラムの構築を依頼。佐野さんの案が採用され、がんやパーキンソン病、アルツハイマーを治すための研究に役立てられています。それを受けたマサチューセッツ工科大学は佐野さんを「100年後に名を伝えたい情報工学者100人」に選出。「向こう300年間で、およそ6億の人命を救う事になるであろう計算機科学者」と称賛しました。

愛嬌のある顔立ち、元氣な印象のショートカット、高校の制服を身にまとった16歳。怪獣映画と原付1種が大好きで、「原付 ツーリングクラブ モナミ」の広報係を務めます。「ヘルメットを脱いだ際の髪の乱れを表した

情報技術に魅せられた少年時代若くして開花したITの才能

20年ぶりの取材に応じてくれた佐野榮太郎さん。「総合情報通信技術研究機関 ADS」代表理事を務め、非公認のファンサイトが作られるなど、名前と実績は日本中に知られています。

豊明に住み20年以上。原動機付自転車市場と地域を盛り上げるため、萌えキャラ「原付萌奈美」も生み出しています。

佐野さんは1975年生まれ、豊川出身。コンピュータプログラムにふれたのは小学生の頃でした。アメリカのパソコン通信局を利用したリアルタイムコミュニケーション「チャット」で、顔の見えない大人からプログラムに関する手ほどきを受けました。「当時から技術的なことに興味があつて、辞書を片手に英語によるアドバースを読み解いていました。言語は異なってもコンピュータプログラムの内容は共通です」と佐野さんは振り返ります。

中学生でパソコン通信局を運営。当時、個人の予定は手帳かコンピュータ入力一般的な、複数人でのスケジュール共有はできませんでしたが、そこで、利用者がパソコン通信局を介して互いの情報を参照しあえる画期的なサービスを考えました。

その後、アニメやゲーム業界でも活躍。1998年に発売して社会現象にもなった人気ゲームに関わります。攻撃を受けたキャラクターが倒れるだけでなく、体を左右に揺らし



(上)50ccバイクでのツーリングを不定期で開催。佐野さんも仲間と楽しいひと時を過ごします(下)各地のイベントで「豊明市」と「原付 ツーリングクラブ モナミ」をPR。会場ではコスプレヤーの姿も度々見かけます



革新的なアイデアと技術力で、多くの人の力になってきた佐野さん。その献身的な人柄は周囲を引きつけ、IT業界のみならず幅広い分野で称賛されています。

世界から称賛される技術力 苦難の末にたどり着いた答え

輝かしい功績を残す佐野さんの人生は波乱万丈。豊川に住んでいた頃には自宅が火災で焼失し、名古屋のIT企業への入社を機に豊明に移り住みますが、勤め先が数カ月後に倒産。「コンピュータプログラマーとして働きたい」という思いは一度諦め、CADによる製図やおしぼりの洗浄といった異業種で生計を立てていました。

転機は23歳。悩んだ末、「何にやりたいかではなく、何をしたいか」という答えにたどり着き、「どんな仕事でもいい。人に喜んでもらえる仕事をしよう。そのために自分の技術を使おう」と決意しました。

十代の頃には、同級生から「家族が視力低下で昼夜も分らず困っている」と相談され、リモコンのボタンを押すと時刻を読み上げる時計を開発。「この開発で感謝してもらえなくても、人の役に立ちたいと思っただけです」と目を細めます。

その後、中古車販売店からの依頼を受けて防犯システム「ASSO1」を開発。従来の防犯システムは敷地内に猫や犬、鳥が入るだけで反応し、そのたび警備会社に通報してしまう欠点がありました。佐野さんは人だけが平均体温に着目。アメリカにあった人の体温にだけ反応するモジュール(※)を手に入れ、システムに導入したのです。

巻頭特集

豊明在住の情報技術者・佐野榮太郎さん

世界を動かすITの力を地域のために

日進月歩であらゆる分野に導入されるIT。業界で名が知られる「総合情報通信技術研究機関 ADS」はさまざまな事業を技術面でバックアップする非営利団体です。代表理事の佐野榮太郎さんは豊明在住で、メディアへの登場は希少。パイオニアとして情報技術の発展に大きく貢献し、ゲーム・音楽・キャラクタープロデュースといった多方面で活躍しています。

Profile

佐野榮太郎 Sano Eitaro

総合情報通信技術研究機関 ADS 代表理事
コンピュータプログラマー、ゲーム・アニメクリエイター
1975年1月3日生まれ、45歳。小学生の頃からコンピュータプログラムに興味をもっていました。23歳で豊明に住み、地元と産業を盛り上げたいと萌えキャラ「原付萌奈美」を考案。種やかで気さくな人柄が魅力。取材中は熱を込めて話す時もあるが、冗談を交えて笑いを誘う場面もあり、サービス精神にあふれていました。



て倒れていくキャラクター特有のモーションを開発しました。

世界から称賛される技術力 苦難の末にたどり着いた答え

輝かしい功績を残す佐野さんの人生は波乱万丈。豊川に住んでいた頃には自宅が火災で焼失し、名古屋のIT企業への入社を機に豊明に移り住みますが、勤め先が数カ月後に倒産。「コンピュータプログラマーとして働きたい」という思いは一度諦め、CADによる製図やおしぼりの洗浄といった異業種で生計を立てていました。

転機は23歳。悩んだ末、「何にやりたいかではなく、何をしたいか」という答えにたどり着き、「どんな仕事でもいい。人に喜んでもらえる仕事をしよう。そのために自分の技術を使おう」と決意しました。

十代の頃には、同級生から「家族が視力低下で昼夜も分らず困っている」と相談され、リモコンのボタンを押すと時刻を読み上げる時計を開発。「この開発で感謝してもらえなくても、人の役に立ちたいと思っただけです」と目を細めます。

その後、中古車販売店からの依頼を受けて防犯システム「ASSO1」を開発。従来の防犯システムは敷地内に猫や犬、鳥が入るだけで反応し、そのたび警備会社に通報してしまう欠点がありました。佐野さんは人だけが平均体温に着目。アメリカにあった人の体温にだけ反応するモジュール(※)を手に入れ、システムに導入したのです。

(※)いくつかの部品の機能を集めたもの